

# 行政書士法人小金丸(士業) の取り組み事例：知的資産を組織の競争力に変えるためのDX・AI活用

## 参加者

企業	社名	行政書士法人小金丸
	業種	士業
	事業概要	自動車登録・車庫証明・出張封印を専門とする行政書士事務所。
参加した受講生の概要	所在地 (都道府県・市区町村)	福岡県福岡市
	提供データ 種類/蓄積量	業務フロー、kintoneデータサンプル、配置図サンプル、電話対応業務ヒアリング
	チーム名	Petit Bateau (プチバト)
	チーム人数	4人
	スキル・PR	業務課題の理解力と要件定義能力 AIなど最新技術を迅速にプロトタイプし 実用性を検証する技術力
	進める中で工夫したこと	ツール開発に留まらず知的資産を組織の力に変えるという本質的な問いを追求した。 セキュリティリスクを最優先しつつ開発を進めた。

## 実施概要

### 課題内容

#### 1. 属人化した「暗黙知」への依存

- 「配置図作成」はベテランの経験と勘に依存し、新人教育が長期化。品質も不安定であった。
- 複雑な判断基準が言語化されておらず、組織の資産として蓄積されていなかった。

#### 2. 情報分析による非効率な業務

- 1日100-150件の電話の多くが進捗確認であり、コア業務を圧迫。
- kintone、スプレッドシート等のシステムが分断され、二重入力や分断が発生。



### 実施した検討内容

#### 1. 業務プロセスの徹底的な可視化

- 複数回のヒアリングと現場観察を通じ、電子申請（OSS）と書面申請の業務フローを分析。
- 課題の根本原因が「暗黙知の属人化」と「情報の分断」にあると特定。

#### 2. 実用性を重視した3施策に集中

- AI（画像生成、OCR）、API連携（Google Maps、LINE）を検証。
- 配置図作成支援／進捗ステータス共有／手書き書類OCRを迅速にプロトタイプ化。



### 検討の成果

#### 1. 業務効率化を実現する3つの解決策

- 配置図作成支援ツール：作成時間を10-15分 → 3-5分へ短縮。
- LINE Bot × AI-OCRによる書類自動処理：事務員のデータ入力作業をゼロへ。

#### 2. 提言：「正のサイクル」の創出

- ツール群を統合業務プラットフォームとして導入し、知的資産の蓄積・活用による持続的成長基盤を構築。